

三沢市と八学大、 八学短大連携協定

上十三地域で初

三沢市と八戸学院大(大谷真樹学長)、八戸学院大短期大学部(外崎充子学長)は22日、地方創生をテーマにした包括連携協定を締結した。国際交流の盛んな土地柄を生かしたグローバル教育の推進や医療、福祉の充実など12項目で連携事業に取り組む。

八学大などと青森県内自治体との連携協定締結は6件目で、上十三地域では初。期間は1年ごとの自動

更新となる。

協定内容は、他に「幼児教育から高等教育にわたる教育振興」「スポーツ振興によるまちづくり」「地域資源を生かした創業支援」



協定書に署名する八戸学院大の大谷真樹学長(左)ら22日、三沢市役所

など。米軍三沢基地と大学との交流促進をはじめ、市による起業セミナーへの大谷講師派遣、保健師の研修やスポーツイベントでの大学との連携といった事業が見込まれる。

この日は市役所で締結式が開かれ、種市一正市長と大谷、外崎両学長が協定書に署名した。(工藤文一)